

コロナ禍における海外のオンライン授業

－韓国の高校・大学の事例から－

関東国際高等学校
副校長 黒澤 眞爾

本日の流れ

1. 大学のオンライン授業

- ・ 実施経緯について (建国大学)
- ・ 授業形態とLMSについて (韓国外国語大学 他)
- ・ 実施大学側の評価 (独自アンケートより)
- ・ 受講した学生の意見 (満足度調査結果、日本からの留学生の声 横山綺々さん、木村鈴さん)

2. 高校のオンライン授業

- ・ 授業内容紹介 (京畿道果川外国語高校)
- ・ 受講した生徒の感想 (海成女子高校、聖母女子高校、桂林高校 他)
- ・ 生徒の父母の感想 (独自アンケートより)
- ・ 韓国高校生対象インタビュー調査について (間橋怜君 関東国際高校韓国語コース生)

3. まとめ – 外国語学習とオンライン教育の可能性 –

1. 大学のオンライン授業

－ 実施経緯について 建国大学(Konkuk Univ.) －

建国大学 オンライン授業実施経過

2020. 2.17 一般教科目のオンライン授業混用認定に関する基準案及びオンライン授業関連活用ガイド作成

2.20 オンライン講義動画制作関連教育資料制作及び申請案内

2.28 学部別講義撮影補助のための助手派遣協力

3.9 オンライン授業によるe-Campus内聴講及び承認方法案内

3.11 同期型オンライン授業運営システムの制作と支援体制

3.16 オンライン講義アップロード時外部動画ストリーミングサービス(YouTube)利用案内マニュアル配布

3.20 e-Campus内CDN(Content Delivery Network)サービス導入

5月現在 オンライン講義は各教授が撮影し、校内ポータルサイトe-Campusにアップ、進行している。

5.4からはオフライン対面授業が必要な実験実習科目に対して対面授業を実施している。

オンライン講義時使用しているソフトウェアはZOOMである。

1. 大学のオンライン授業

ー授業形態と使用アプリについて 韓国外国語大学(HUFS)

2020年3月 学事総合支援センター コロナ19対備 遠隔授業運用計画より

1単位50分一般授業対備遠隔授業運用基準

類型①・再生時間25分以内音声講義及び資料e-class講義資料室アップロード

- ・「テキスト資料」パワーポイント、ハングル、ワード等で講義資料を構成
- ・「音声録音資料」講義資料掲示板1個につき10～15分以内音声録音
- ・(25分以上音声講義) + 討論／課題／クイズ等 学習活動 = 50分授業

類型②・講義動画YouTubeアップロード後e-classオンライン講義室リンク提供

- ・YouTubeアップロード時受講生だけのための“一部公開”設定必須(著作権問題の所持者がいる場合)
- ・(25分以上動画講義) + 討論／課題／クイズ等 学習活動 = 50分授業

類型③・講義室授業時間に合わせたリアルタイム画像遠隔会議実施

- ・Webex画像会議等(ZOOM、YouTubeリアルタイムストリーミング等も可能)
- ・画像会議の場合にもe-classを通じた討論／課題／クイズを並行

1. 大学のオンライン授業

—教職員と学生が共有できる学習管理システム—

- 学部は講義ポータルシステムを通じた講義視聴
- 掲示板でのコミュニケーション
- 動画視聴、カカオトーク等を利用した講師とのコミュニケーション（嶺南大）
- オリジナルe-Campusプログラム（建国大）
- CANVAS（釜山外大）
- e-Class（中央大、東国大、全南大）
- 大学独自のLMSシステム（倍材大、崇実大、壇国大、延世大、大邱大、慶星大 他）
- Black Bord（亜州大、漢陽大）

* 全国20大学を対象としたアンケートより(2020・6 日本大学管理行政学会)

1. 大学のオンライン授業

— 実施大学側の評価(アンケート結果より) —

-
- ・オンライン授業の支援満足度調査の結果、教講師約80%、学生約60%が普通又は満足であると回答。(建国大)
 - ・正直よくわからない。教員ごとに意見が異なる。例えば、平常時授業より相互作用が活発に行われると言う人もいれば、そうでないという意見もあり、具体的に把握するのが難しい状況。
また、オンライン授業が、事前に計画されたものでなく、コロナ状況で緊急に実施された画像講義で進行しているため、現時点で教育的効果を分析するのは難しい。(慶星大)
 - ・試験未受験者及び不合格者の比率増加。学習到達度の低下が原因か? (嶺南大)
 - ・学生はオンデマンドの資料を必要に応じて復習できるため、授業の理解度は通常よりも高いという印象がある。しかし、会話練習などは対面授業ほど十分な時間確保ができていない。(釜山外国語大)
 - ・学生の満足度は70%程度。(培材大)
 - ・一部授業はオンラインがより効果的であると思う。学生たちの質問が多い。(亜州大)
 - ・授業へのモチベーション及び授業の質低下があるとの意見が多い。(漢陽大、崇実大)
 - ・接続面でのトラブルが多く、限界を感じている。(全北大)
 - ・学生たちの教育満足度が減少している。(大邱大)

1. 大学のオンライン授業

— 学生側の評価(アンケート結果より) —

2020年度1学期オンライン講義1次満足度調査結果報告

- ・調査機関: 建国大学第52代総学生会
- ・調査期間: 3月30日(月)～4月3日(金)
- ・回答学生: 総1, 534人
- ・結果: 全般的に現在進行しているオンライン講義について満足していますか?
 - とても思う → 88名 (5.7%)
 - そう思う → 295名 (19.2%)
 - どちらでもない → 424名 (27.6%)
 - そう思わない → 468名 (30.5%)
 - 全然そう思わない → 259名 (16.9%)

1. 大学のオンライン授業

— 留学生の感想 —

韓国から

1. 横山 綺々さん

関東国際高等学校韓国語コース卒

現在 韓国慶熙大学 観光学部 2年在籍

2. 木村 鈴さん

関東国際高等学校韓国語コース卒

現在 韓国延世大学 グローバル人材学部 2年在籍

2. 高校のオンライン授業

— 京畿道果川外国語高校の事例 —

- ・4月3日よりオンライン授業開始(全国的には4月16日)
- ・双方向コミュニケーション授業(全学年ZOOM使用、他の高校は教育放送講義視聴が主流)
- ・全教科を時間割通り実施(体育、音楽、美術含む)
- ・ZOOM社より各教員に対して長時間使用可のライセンス供与
- ・教育庁が生徒のICT環境を事前調査(専用ライン、PC、ノートブック、ウェブカメラ等)し、必要な場合は端末機(タブレット)を各家庭に支給。都市部では環境に問題は無いが、山間部では繋がり辛い環境もある。(Wifiよりは有線のほうがよい)
- ・登校授業とオンライン授業の併用は基本的にない。
- ・教師が使用するコンテンツに著作権上問題が無いか、確認をとる必要がある。
- ・全体的に生徒／家庭の満足度は高いと理解している。 金圭万教諭(日本語)

2. 高校のオンライン授業

－ 生徒の感想（関東国際生のインタビュー調査より 2020/7） －

1. 学校名／地域： 果川外国語高校（京畿道）
2. 学年／性別： 2～3年生 男女（複数）
3. 授業内容：
 - ・通常の時間割と同じ。ZOOMを使用して授業を展開、生徒はそれを見ながらメモ。
 - ・課題はメールで提出。
4. 良かった点：
 - ・登下校の時間が無くなった！ ・気が楽になり、寝る時間が増えた！
 - ・授業の遅れがなくなった！
5. 困った点：
 - ・寝坊をする生徒が増えた。 ・先生の声が時々途切れる(ネット環境不全)
 - ・ZOOMの使用法がよくわからなかった。 ・質問ができない。
 - ・授業に集中できない。 ・部活がない。 ・不便なことが多い。

2. 高校のオンライン授業

－ 生徒の感想（関東国際生のインタビュー調査より 2020/7） －

1. 学校名／地域： 聖母女子高校（釜山）
2. 学年／性別 ： 3年生 女子
3. 授業内容 ： ZOOM 、 Google-classroom 、 動画視聴 、 写真で課題提出
4. 良かった点： 思ったより先生から質のよい授業を受けてとても満足した。英語科目の場合は、オフラインより進度も早く、万が一逃してももう一度受けることができるという長所があった。
5. 困った点 ： 先生ごとに授業のやり方が違うので、毎時間受講の方法を探して入室するのが不便だった。でも慣れてきて大丈夫になった。
6. その他 ： まず苦勞なされた先生たちに感謝である。オンライン授業をしていた5/5は「子どもの日」だったが、生徒会で話し合っGoogle-Classroomに感謝の言葉が書かれた写真を掲載し、皆一言ずつ感謝の言葉を残す、一生記憶に残るイベントも行った。再びオンライン授業体制に戻っても、大きな不便なくうまくやっていけそうだ。

2. 高校のオンライン授業

－ 生徒の感想（関東国際生のインタビュー調査より 2020/7） －

1. 学校名／地域： 桂林高校（仁川）

2. 学年／性別： 3年生 男子

3. 授業内容： Classtingというアプリを利用して、学校ではできない授業をオンラインに置き換えておこなう。

1日7科目履修。いくつかはクイズ形式で問題を解きながら課題を携帯アプリで提出。

4. 良かった点： 朝早く起きる必要がない。

時間に関係なく1日の中で講義を聴き、クイズ形式で簡単な問題を解いて提出するだけでも出席と認められるため、簡単でよかった。

5. 困った点： 直接会って授業をするのではなく、あらかじめ撮っておいた映像を見ながら勉強するので、分からない問題があるときは、直接聞いたりすることができない点。友だちに会えないこと。

中間試験と期末試験の間が30日しかないという点！

2. 高校のオンライン授業

－ 生徒の感想（関東国際生のインタビュー調査より 2020/7） －

1. 学校名／地域： 周禮女子高校（釜山）

2. 学年／性別： 3年生 女子

3. 授業内容： ZOOMとgoogle teamsを使用した授業。Windows LANとEBSで授業課題提出。

国語はZOOMを利用し、修学能力特別講義を受ける。数学はZOOMを利用し、Windows LANに課題を提出。英語、社会、地理もZOOMまたはteams、体育はヨガなどの映像を撮り、メールに添付送信。美術はZOOMを使い、美術史の勉強。その内容を書く。

4. 良かった点：家族との時間が増えた。いつも帰りが12時だったので、少し気が楽になった。

5. 困った点： カメラが映らないところで、ついスマホを触ってしまう。授業中に居眠りする子がいて、授業が進まなくなってしまう。友達に会えず、会話が以前より減ってしまい寂しい。毎日10時間スマホやパソコンを使わないといけないため目が疲れてします。

2. 高校のオンライン授業

－ 生徒の感想（関東国際生のインタビュー調査より2020／7） －

1. 学校名／地域： 海成女子高校 （ソウル）
2. 学年／性別： 3年生 女子
3. 授業内容： オンライン授業を聴き、出席課題を提出。
4. 良かった点： 授業を聴きながらおやつを食べることができた！
ゆっくりと、リラックスしながら授業を受けることができる。
5. 困った点： 海成女子高校は、学校の先生たちが直接制作した授業教材がほとんどなく、EBS講座でほとんどの授業が行われたので、説明が詳しくなかった点が困った。
友達と会えないのが寂しい。ずっと画面を見ていると眠くなる。

* 直接韓国の高校生にインタビューした日本の高校生に話を聞いてみよう！

間橋怜君 関東国際高校韓国語コース3年生

2. 高校のオンライン授業

－ 保護者の感想（5家庭にアンケート 2020／6）－

1. 地域： ソウル(3)、京畿道、全北
2. 学年： 中学2年～高校1年
3. 実施： 4月16日～
4. 授業時間： 週5日、1日4～7科目 2～4時間程度（1科目40分程度）
5. ICT 環境： デスクトップ、ノートブック、Wi-Fi受信機
6. 子供がオンライン授業を受けている姿を見て感じた点：
 - ・授業の質の低下
 - ・集中度の低下
 - ・非効率的
 - ・難しい
 - ・別の方策が必要
 - ・実効性の低下
7. 満足度： 中1 下4

3. 高校の多言語教育とオンライン授業の未来

— 2020コロナ禍で見えてきたこと —

1. 同じ環境(コロナ禍)下で、日韓の学生が自律的に課題(オンライン教育の問題点)を共有することができた。
2. 今回の調査は学校教育のオンライン化が、国際交流の深化へとつながる可能性を見せてくれた。
3. オンライン教育と複言語(多言語)教育の普及は、日本の学生が世界の学生たちと自律的につながり、討論の場を作っていくきっかけになるのではないか？
4. そのとき、パートナー(仲間)との共通言語は、「英語」だけなのか？
オンライン上に多言語が飛び交う、豊かな交流空間をイメージしてみよう。